保健だより

No.１５

平成 28 年 9 月 23 日（金）
北海道中標津高等学校　保健室発行

もっと知ろう！　結核のこと　9月24日～30日は結核予防週間です

世界三大感染症のひとつ、結核。それは社会の中にしぶとく残って、人々を苦しめ続けています。世界の結核の 60%はアジアで発生しています。
日本では、今でも **1 日に 50 人の新しい患者が発生し、5 人が命を落としている重大な感染症**なのです。　～今年になってからの集団感染のニュースを一部紹介します。～

警視庁渋谷署員１９人が結核に集団感染

昨年末から今年 4 月にかけて留置などを担当する署員 19 人の結核感染が判明。
昨年留置されていた男性が肺結核で死亡していました。
因果関係は調査中とのこと。

塾で結核56人感染＝千葉

千葉市内の学習塾で結核の集団感染が 8 月に発覚。
感染源と見られる男性講師は入院。
塾生 22 人の他に、同僚や家族らが感染しました。

病院勤務の女性が肺結核感染

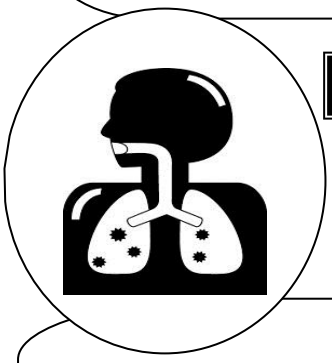
千歳保健所管内で病院勤務の女性の感染が確認され、家族・病院職員・入院患者を調べたところ 14 人の感染がわかり、そのうち 3 人が発病していました。

結核ってなに？どこが悪くなるの？

●結核菌が体の中に入り、増えることによって起こる病気です。
●日本では結核の約 8 割は肺です。（肺結核）。
結核菌が肺の内部で増えて、結核に特有な様々な炎症が起こります。続いて肺が破壊されていき、呼吸する力が低下します。
●肺以外の臓器が冒されることもあります。

どんな症状がでるの？

●初期の症状はカゼと似ていますが、せき、痰（たん）、発熱（微熱）などの症状が長く続くのが特徴です。
また、体重が減る、食欲がない、寝汗をかく、などの症状もあります。
●さらにひどくなると、だるさや息切れ、血の混じった痰（たん）などが出始め、喀血（かっけつ）（血を吐くこと）や呼吸困難に陥って死に至ることもあります。



予防にはＢＣＧ接種！　早期発見には胸部Ｘ線検査　幼児・お年寄りは要注意

初期症状はカゼと似ていますが、２週間以上、せきや痰（たん）、微熱が続くようなら、早めに病院にかかりましょう。

結核って治るの？

●昔は多くの方が亡くなりました。今は薬（抗結核薬等）が開発され、きちんと薬を飲めば治ります。
●しかし、病院への受診が遅れたり、診断がおくれたために病気が進行して重症になった場合や免疫状態が著しく低くなった場合には死に至ることもありますので、注意が必要です。
●また、治療途中で薬を飲むのをやめてしまったり、指示された通りに薬を飲まなかったりすると、結核菌が薬に対して抵抗力（耐性）を持ってしまい、薬の効かない結核菌（耐性菌）になってしまう可能性があります。